

プレーヤーが競技中に身につけられるもの

色の指定あり

マウスガード(無色透明)

ユニフォームやソックスからはみ出さないものに関しては、色を揃える必要はありません。

プレー中に接触等でユニフォームの中に着用しているものが見えた場合、それははみ出したということにはならないので、他の身につけるものと色が揃っていないものを着用していても、注意することはありません。

色の指定なし

チームで色を揃える必要があるもの

- 腕のコンプレッションスリーブ
- 脚のコンプレッションスリーブ
- ヘッドギア
- リストバンド
- ヘッドバンド
- サポーター類
- ヘアバンド
- 手甲

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具(※1)
- 足首の装具(※1)
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター
- テーピング
- マスク

※1 / 装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことで、病院で診察を受け、医師の処方のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

ソックスは上記と色を揃える必要無いです。選手全員で色を揃えること。例>ソックスは白、ロングタイツは黒でもOKです。

チームで色を揃える必要があるもの

○腕のコンプレッションスリーブ



○脚のコンプレッションスリーブ(パワータイツ)



○ヘッドバンド



※最大10cmの幅で、繊維素材のもの

○ヘッドギア



○ヘアバンド



○手甲



○リストバンド



※最大10cmの幅で、繊維素材のもの
※紐が長く垂れすぎないこと

○肩のサポーター



○膝のサポーター



黒色のサポーターとみなします



白色のサポーターとみなします



写真はパウアーファインド社製のゲニユトレインです。2トーンタイプのサポーターは、大部分で使用されている色とそのサポーターの主となる色と判断します。

○足首のサポーター



○指、手および手首のサポーター



○腕・肘のサポーター



着用例

OK ① 腕のコンプレッションスリーブ(黒)+ヘッドギア(黒)

NG ② 脚のコンプレッションスリーブ(黒)+膝のサポーター(白)
⇒脚のコンプレッションスリーブとサポーター類は、色を揃える必要があるものです。

OK ③ リストバンド(白)+ヘアバンド(白)+膝の装具(黒)
⇒膝の装具は、リストバンドとヘアバンドと色を揃える必要がないものです。

装具について

装具とは、骨折や術後の治療に必要となる固定や免荷装具のことです。
 病院で診察を受け、医師の処方(診断書)のもとに製作し、一時的に使用されるものです。

装具の使用の際は事前に大会本部に診断書などをご提出し使用許可を得てください

○膝の装具



○足首の装具



○眼鏡



○鼻のプロテクター



プレーヤーが競技中に身につけられないものについて

○ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



2023年度より着用可能

○スカーフスタイルのヘッドバンド



○無色透明以外のマウスピース



(メーカーロゴ、番号・名前が入っているものも着用不可)

 ○点滅するライト、反射素材や
 その他装飾物が付いたシューズ


○ヘルメット


 ○商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、
 ロゴやその他特定できるもの

 ○柔らかいパッドで覆われていても、
 指、手、手首、肘や前腕の防具


○ヘアアクセサリや貴金属類



- 固定具や支持具で、皮革、プラスチック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられて5いるもの
- 他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの(爪は短く切っておくこと)

2. 半袖シャツや長袖シャツの着用について

半袖シャツや長袖シャツの着用を認める

- 半袖シャツや長袖シャツのチーム内での混用着用も認める。色はチーム内にて統一とすること。
- 身体のシルエットが分かるコンプレッション系ウェアのみ着用ができます。シルエットわからないシャツや袖元が開いたシャツは着用できません。
- タイツと色を揃えてください。例>シャツが黒ならタイツも黒を着用
- シャツに柄や模様が入ったものは着用できません。全体として単色と認定できるものは着用を認めます。
- シャツに襟裳のライン・腕などのラインに同系色では無い色がついたものは着用できません。
- シャツにメーカーのロゴが入ったものは着用できます。色や大きさなどに制限はありません。

使用できるシャツ



ハイネック



ロゴが入っている



模様があるが
単色と認定できる

使用できないシャツ



模様がある。単色ではない。



ラインに同系色では
無い色がついてる



コンプレッション系の
ウェアではない

JSBでは入れ墨・タトゥーに制限はありませんのでそのための対応ではありません